

2019—2020年度 Vol. 08
ガバナー月信

2 月号



Rotary International District 2570
GOVERNOR's MONTHLY LETTER
Vol.8 February 2020



平和と紛争予防／紛争解決月間
平和の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワーク構築を
ロータリー創立記念日と世界理解と平和の日
1905年2月23日は、ポール・ハリスが友人3人と最初に会合をもった日です

あおり運転は自分で防げる

国際ロータリー
第2570地区ガバナー
鈴木 秀憲

吹上

昨年の全国交通事故死者数は、統計を取り始めて以来最少の3,215名であった。埼玉県の同数値も129名でこれもまた最少値であった。年間交通事故死者数が最多であった昭和45年(全国16,765名、埼玉県845名)に比し大幅に減少した事は良いともいえる。しかし、言い方を変えると「未だこんなに多くの方々が交通事故によって犠牲になっている酷い状況である。」ともいえる。何故なら50年前と今とでは、交通安全広報普及を始め、車両の安全装備充実(シートベルト、エアバッグ、衝突回避装置…自動ブレーキ等々)や救急医療(ドクターヘリ等も)等が格段に進歩しているからで、減少は当然と言える。

ところで、私は永年交通事故防止に取り組んでいるが、交通事故状況を死者数値で表す事に抵抗を感じている。しかし、事故者数が無くなる事を願っての交通安全活動なので、抑止目標として死者数に触れない訳にはいかない。

ここで私として考えた事は、死者数を数えるのでは無く「交通事故死者0の日が何日続くか」を数え、それを目立つ場所に掲示するようにしている。夫々の地域で死亡者0の日が少しでも多く続くように願っている。私は交通安全活動の目玉として交通死亡者0の日の連続日数を表示した看板を市内で一番目立つ場所へ設置した。まずは100日連続を願い、100日を超えると次は200日を目指し、その次も更に300日を目指して頂きたいと願っている。しかし、この看板を設置して5年になるが残念な事には、300日達成は出来ていない。



←「交通事故死者0の日」が何日続くかを目標に



↑キーブライトではなくキープレフトを通常走行の時はキープレフトを遵守しよう

交通関係で最近気になる事は「あおり運転」と「高齢者の事故」が喧伝されている事だ。

あおり運転とその延長にある暴力事件は言語道断であり、「あおり運転は止めましょう。」という事は当然である。この事に異議は無いが、「あおられる」事を無くする方が、効果があると私は考える。あおられる側に少なからず理由がある場合が多いとも考えている。

あおられる方の特徴は、後続車を塞いでいる場合が多いと思う。あおり運転が報ぜられているTV画像を見ると、高速道路を始め片側2車線以上の場合が良くみられる。片側2車線以上の道路では、「キープレフトつまり通常は走行車線を走る。前車を追い越す場合にのみ追越し車線を使い、追越しが終わったら走行車線へ戻る。」これが基本だ。しかし、私自身よく目にするが、追越しが終わっても左側の走行車線へ戻らない、若しくは追越さないうで左側の走行車線を走行中の車両と並走している車が多い。

これでは(速度違反しているとかいないとかは関係なく)急いでいる後続車から見ると進路妨害をされている事になり腹が立つ。後ろから自分より早い車が来たらどいて進路を譲るべきなのに、気が付かないで追い越し車線をゆっくり走っている。後続車はいらいらす。先行車は一向に気が付かない。後続車の怒りは徐々にエスカレートしてくる。やっと追い越す事が出来た後続車で質の悪い輩は追い越されても気が付かない鈍い先行車へ意地悪をする。鈍い先行車は自分が今まで邪魔になって居たとは思っていないから、いきなり意地悪されたと思う。……と、

こんな状況になって居ると思える。

実際暴力事件になった場面は目撃した事は無いが、追越す際に幅寄せする等の軽い意地悪は何回か見かけている。ましてその前段階の後続車が、(先行車の後ろにびたりとつきながら、或は右・左へ蛇行しながら走る)いわゆる煽る状況は、眼にする事暫しである。

この場合、問題は鈍い先行車が「自分は速い後続車の邪魔をしている。」という事に気が付いていない事だ。ご本人は隣席の人と楽しく話をしているのかもしれないが、後続車としては迷惑な話だ。運転は前方だけではなく、後方にも気を配る必要が有る。私は元々キープレフト遵守者だが、当然先行車を追い越す事も有る。追い越し車線に出ている場合は、常にルームミラー若しくはサイドミラーで後方へも充分気を配っている。危なそうな輩が飛んできたら、直ちに早めに追い越すか、追越しを諦めて走行車線へ戻る事にしている。あおり運転は予防と言うより自衛出来るし、自衛すべきだ。

それと、通常走行の時はキープレフトを遵守しよう。一般の車を見ているとキーブライトの方が多く感じる。気ばかり焦って早く行こうとしている証拠かも知れない。私はキープレフトで、右側(追い越し車線)で信号待ちをしている車より、自然に前へ行けてしまう。

もう一つの高齢者の運転について考えてみよう。私自身は昨年喜寿を超えた立派な高齢者だ。世間では高齢者(65歳以上)の関与する事故が急増していると云われている。医療も発達し、寿命が延びているのだから人

口に対する高齢者の割合は増える。だから、高齢者の事故割合が増えることは当然だと思うが、それで良いという事にはならない。で、世間では、「高齢者の運転は危険だから早めに免許証を返納しよう。」等と云っている。自治体によっては「免許証を返納した方へは、路線バスやタクシーの優待券を発行する。」等と云っている。交通至便な街中では有効だが、交通網の発達していない地域では、優待券等は使い物にならない。大きなお節介だとしか言いようがない

ではどうするのか？ 交通対策については(バス事業者である私としては、色々な考えは持っているが)別稿へ譲って、高齢者の運転について考えたい。

私自身も感じるが、齢を重ねれば見る(単なる視力のみならず、注視する)力は若い頃より劣ってきている。又、見えて或は気が付いてから行動に移す迄に時間掛かってくると思う。先ずはこの事を自覚すべきだ。自覚したら、この事に対応する。では、どうするのか？ それは行動を「ゆっくり」と行う事だ。気が付くのが遅く、行動も「ゆっくり」では間に合わないではないのか？……それは「ゆっくり」を使う場合が違う。

事故のタイミングの一つに、「出会い頭」がある。出だそうとしたら人が来た、車が来た。ゆっくり出だそうとすれば周囲が良く見え、人や車が来るのが良く分かる。人や車が来るようならそれをやり過ごす。しかし、何故か、来る人や車より先に出ようとする人がいる。これが良くない。待てばよいのだ。

ゆっくり出だすとは、

- ① ブレーキペダルを踏んでエンジンをかける
- ② ブレーキペダルから足を離す
- ③ アイドリングの状態動き始めるのを確認
- ④ 動き始めたらゆっくりアクセルペダルを踏む
- ⑤ 徐々に加速する。

……これを試して欲しい。その結果燃料消費量が少なくなる。上記②からいきなり急加速をする人がいるが、③と④が大切だ。そして、来る人や車が見えたら、通り過ぎる迄待てばよい。

実は、私は10年程前から、省燃費運転を行っている。その結果出だしが自然とゆっくりになり、ゆっくりにになると周囲が良く見える。結果は安全運転になる。

一時停止の時も同じだ。

- ① 停止線で止まる。(当然だが、停止線は越えない)
- ② 左右をよく見る。
- ③ メインを通行中の人や車が居たら、自分は待ってそれらをやり過ごす。
- ④ メインの通行者や車が行き去ってから、ブレーキから足を離し
- ⑤ もう一度、来る人や車のない事を確認の上でアクセルペダルを踏み加速する。

③、④、⑤が大切だ。要は、一時停止では①停まる、②見る、③急いで出る。ではなくて、①停まる、②見る、③待つ……の待つ事が大切と考えて居る。

走行中も同じだ。車間距離を空けて走る。

そうすれば前走車が仮に軽くブレーキを踏んだ場合に、当方は、アクセルペダルから足を離しての軽い減速つまりエンジンブレーキで済む。勿論、前走車が急ブレーキを踏んでも(車間が有るから)当方は安全に止める事が出来る。

「ゆっくり」とは慌てない事。年寄りに「ゆっくり」は丁度良い。「慌てる」のは似合わない。

もう一つのポイントは、右

折時だ。

- ① 右方向器を点滅させながら右折レーン(ない場合はセンターライン寄り)へ
- ② 対向車を指差し確認し、右折後に横切ることになる横断歩道を通る自転車や人の確認をしておく
- ③ 対向車が過ぎ去ってからもう一度、同方向の人や自転者のない事を指差し確認し、
- ④ おもむろに右折する。

※この場合③での対向車が向かってくる直前を急いで右折はしない。急ぐと次の同方向の人や自転車の確認が疎かになる。要は「高齢者こそ安全運転の見本を示そう。」という事だ。

孫から「おじいちゃんの運転は、安全なのでパパの運転より安心して乗って居られる。」と云われる様にしよう。間違っても「おじいちゃんの運転はパパより危ない。」等と云われない様に。



煽られずに、自分も安全運転すれば、こんな素晴らしい景色を楽しめる

扱、2月は、平和と紛争予防／紛争解決月間だ。

このところ、世界のあちこちで諍いが起こっている。夫々に言い分は有る様だが、何をどう言おうが、ベースに民主主義が無くては、評価する事は出来ない。この稿を書いている時に、「台湾の総統選挙で蔡英文氏が再選され、民主主義が継続される。」と報ぜられた。素晴らしい事だ。第2の香港

になって欲しくはない。

各紛争の根底にある問題点は、(一般的には)貧困・不平等・民族間の緊張・教育機会の欠如・資源の不均衡等が挙げられている。夫々の問題についてクラブで話し合いを試みたら如何であろう。

2月のロータリーの目標は、『平和と紛争予防/紛争解決』月間です。

2月の特別月間に寄せて、ロータリー (Rotary International) は長期的な変化をもたらすために、特に以下の6つの分野に重点を置いて活動していることは、皆さんご承知の事と思います。

- 1) 平和と紛争予防/紛争解決
- 2) 疾病予防と治療
- 3) 水と衛生
- 4) 母子の健康
- 5) 基本的教育と識字率向上
- 6) 経済と地域社会の発展

奉仕のプロジェクトを立案する時に、これらの分野を意識して活動することが奨励されています。

第2570地区の国際奉仕委員会では、上記の中の、3)水と衛生、5)基本的教育と識字率向上、6)経済と地域社会の発展に的を絞って活動し、又クラブのサポートと強化という事にも取り組んでいきたいと考えています。

年度計画書の中では、2月を『平和と紛争予防/紛争解決』月間と定められています。今、毎年20,000人が地雷によって手足や命を奪われ、5,100万人が難民生活を余儀なくされています。私達はこれらの人々を支援するのに紛争地帯から逃れてきた人々の救済や、親を亡くしたり、心に傷を負った子供達を助けるための方策を講じる必要があります。命を落とした犠牲者の90%が一般市民で、半数が子供と伝えられています。世界で、30万人の18歳未満の子供が少年兵になるとの報告もあります。紛争の要因は貧困、不平等、民族間の対立、教育の欠如などが挙げられます。紛争解決には、現地の学校や孤児院、職場、市民センターなどと協力して、取り組むことが求められています。

ロータリーでは、『平和と紛争予防/紛争解決』を進めるために、『ロータリー平和センター』を立ち上げました。平和は『人』から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ

(奨学生)を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高100名のフェローが世界中から選ばれて、ロータリーからフェローシップ(全額支給の奨学金)が授与されます。フェローシップには、授業料、入学金の金額、滞在費(宿舍、食事)、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用が含まれます。2002年に創設されてから10年あまり、ロータリー平和センターは1200名以上の人材を輩出して来ました。その多くは、国連や世界銀行といった国際機関や草の根のNGOでリーダーシップを発揮し、より平和な世界を築くために活躍しています。

ロータリーのフェローシップとは

ロータリー平和センターのプログラムのビジョンは持続可能な平和を実現することであり、世界の名門大学に平和センターを設けています。デューク大学、ノースカロライナ大学・チャペルヒル校(米国)、国際基督教大学(日本)、ブラッドフォード大学(英国)、クイーンズランド大学(オーストラリア)、ウプサラ大学(スウェーデン)の6大学にあります。

○修士号取得プログラム(年に最高50名)
色々な国の多様な学生が平和と開発の分野で、研究に基づく知識とスキルを学びます。フェローシップの期間は15～24か月。学期間の休みにフェロー自らが計画した2～3ヵ月の実施研修(インターンシップ)を行います。

○専門能力開発終了証プログラム:
経験のあるリーダーが平和促進と国際開発に必要な実践的なスキルを学びます。期間は3ヵ月(2～3週間の実習を含む)。既に職歴のある専門職業人が対象。



国際奉仕委員会委員長
梅澤 茂



杉原千畝氏の功績

平和については皆さんご存知の、杉原千畝氏が挙げられます。1900年1月1日生まれで、英語教師を目指しますが、生活苦から公費で勉強出来る外交官留学生のロシア語研修生となり、ハルビンで外交官として踏み出します。ヒトラーによるナチの独裁が始まり、ユダヤ人の命が脅威にさらされ始めていたこの頃、リトアニアのカウナスに日本領事館開設を命じられた彼は、同時にソ連からの情報を集めることも命じられました。ユダヤ人迫害も激しさを増し彼らの受け入れ先もほとんどなくなっていた1940年。ナチスの目を逃れてきたユダヤ人たちが、日本への通過ビザを求めて領事館前に押し掛けました。杉原氏は日本の外務省に連絡をしますが、返答は『正規の手続きが出来ないものに、ビザを出してはいけない』というものでした。彼は『私も何をかくそう一晚考えた。苦慮、煩悶のあげく、私はついに、人道、博愛精神第一という結論を得た。そして私は何も恐れることなく、ビザ発給を決意した』と書き残



カウナスの日本領事館外観

しています。その後、1か月間で発給したビザは2139通。一人でも多くの命を救うため、入国ビザ不要の南米キュラソー行きの『命のビザ』を領事館を退去した後もホテルで書き、出国の日も、駅まで押しかけてきたユダヤ人たちに発車間際まで書き続け、最後のビザは車窓から手渡したとあります。

発行ビザは大人だけに与え、子供は大人が連れて行けばと考えたため、彼の発給したビザによって生き延びた難民たちは家族を含めると6000人以上になり、その子孫は今日25万人にも及ぶと言われています。

緒方貞子氏とロータリー

また最近では、1927年9月16日生まれで2019年10月22日に亡くなった、元国連難民高等弁務官であった、緒方貞子氏。外交官の家族に生まれ、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国ワシントンD.C.のジョージタウン大学大学院へ留学。1951年、日本人として2人目のロータリー国際親善奨学生となりました。「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて

見識を広げ、様々な経験が出来た」、又「『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」とつづっています。元国際親善奨学生の緒方貞子氏に、2016～17年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。『私たちは急速に変化する世界に生きています。世界がこれまでにない複雑な脅威にさらされている中で、市民社会の役割や人びとのつながりが、これまで以上に重要性を増しています』とメッセージを残しています。



行田市から寄贈された消防車



タイ・カンチャナブリへ到着した消防車

タイのカンチャナブリへ 消防車を寄贈する。

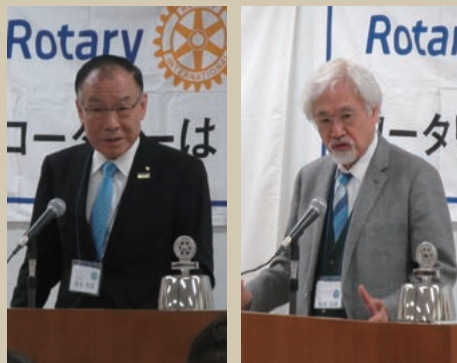
当委員会の田島博夫委員がかねてより行田市へ消防自動車の払い下げ申請を出しておりましたところタイミングよく昨年5月29日に引き渡しを受けることが出来ました。早速タイへ連絡すると、カンチャナブリで頂きたいとの連絡がありました。関税がかからないように申請を出すため、データを英文で作成し、写真も送りました。10月末になり認可の連絡があり、11月に許可書が送られてくると、「12月8日までにバンコクの港に到着する必要があります。さらにインポートできない場合は再申請が必要」と連絡が入りました。

すぐに秩父RCの三上一郎さんに何って、夏のセミナーに参加して頂いた高畑泰寿さんに連絡すると、書類の準備や手続きを快く引き受けてくださり、11月19日出港、12月1日にタイ到着予定と連絡を受けました。その後12月24日には無事税関を通過して、カンチャナブリへ到着したようです。消防車も私たちも現地の人達のお役にたつことが出来てうれしさがいっぱいです。消防車の今後の活躍が期待されます。

RLI partⅡ開催報告

研修委員会RLI担当
渡邊 藤男

熊谷南



RLIとは

ロータリー・リーダーシップ研究会のことで、ロータリー・リーダーシップ研究会は質の高いリーダーシップ教育でロータリークラブを強化するための、草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。

11月23日(土)国立女性教育会館で開催さ

れたpartⅡにはDL(ディスカッションリーダー)を含め50名近くの会員の方に参加していただきました。今回も新会員(入会後1年～3年)のクラスを設け、皆様には自由にご意見を述べていただきました。皆様には前回より活発に意見交換をしていただきました。また今回は他地区からの参加者もあり大変有意義な時間であったと思います。

ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

RLI partⅢは1月19日に開催しましたので、追って報告致します。



米山記念奨学

第2回カウンセラー会議及びクリスマス会



ロータリー米山記念奨学委員会委員長
島崎 義春



12月8日(日)川越東武ホテルにて、「米山記念奨学、第2回カウンセラー会議及びクリスマス会」を行いました。米山記念奨学の事業はほとんど毎月ありますが、私達地区役員が一番嬉しいのは、このクリスマス会かもしれません。奨学生が私達ロータリアンのために企画から設営すべて、自主的に行ってくれています。

まずは、15:00より第2回カウンセラー会議。カウンセラーは2回のカウンセラー会議への出席義務がありその2回目です。奨学生達がクリスマス会準備をしている間に、事前にお話し、アンケートをもとにQ&A方式でカウンセラーと地区役員だけで別室で行っています。皆さん奨学生の事を真剣に考えてくださり、クリスマス会の直前まで行ないました。

17:00からクリスマス会。毎年、先輩の学友の指導のもと、奨学生が私達ロータリアンの為に企画から設営すべて、自主的に行っ



てくれました。一月以上前から手分けして準備をはじめ、当日も午前中から集合し、私達がカウンセラー会議を行っている時間、リハーサルを行っていました。当日のプログラムも、東京国際大学、トルコ共和国のイバムスタファヒルミが担当、自分でデザインしました。当日の受付も、もちろん奨学生です。17:00、クリスマス会、スタート。司会は、カメルーンの奨学生、テギンコリンス ロムアルドとベトナムのゴーミーフェン、ゲーム担当は、タイのルートラッサミー パーリサーを中心に、ミャンマーのイーテンザ、ベトナムのチャンマンタン、プレゼント交換は、マレーシアのシャルリズワン スリーン アキラ ビンティ等々、全員力を合わせて協力し合い一生懸命頑張ってくれています。「今年も良い米山チームになってくれた。」見ていて嬉しくなってきました。

参加した学友も盛り上げてくれました。2570地区が誇る歌姫、ジャズシンガーのシンガポールの陳婉琦(タンワンキー)が歌い、それ

に合わせて、中国舞踊の名手、中国・遼寧省の関成龍(カンセイリュウ)が舞います。参加者はロータリアン約32名、学友は約32名、内お子様が約8名、最近はお子様を連れて参加してくれる学友が増えています、やっぱり嬉しいです。



また、他地区からも10名以上のロータリアンと学友達が参加してくださいました。参加者は90名近くになりました。そんな奨学生達の熱意、どんなクリスマス会だったかは、参加したロータリアンの皆様に聞いていただきたいと思っています。

クリスマス会終了後、思い思いにスナップ写真をとりまわります。久しぶりに再会したロータリアンと学友達は盛り上がりすぎまして、なかなか解散しません、川越東武ホテルのスタッフの皆様には大変ご迷惑をおかけしたようです。

解散後、これまた恒例の学友会副会長アディカリ デバラズの店「サザナ」で有志による二次会、私が自宅に戻った時は、日付が変わっていたそうです。大変楽しかったです。

参加していただいた皆様に感謝申し上げ「米山記念奨学、第2回カウンセラー会議及びクリスマス会」の報告とさせていただきます。

会員増強フォーラム



会員増強委員会委員長
井荻利博

熊谷

令和元年12月14日(土)13:00～熊谷市のキングアンバサダーホテルにおいて国際ロータリー第2570地区会員増強フォーラムを開催しました。

このフォーラムの趣旨はロータリアンでない一般の方達へロータリーとは何か、ロータリーの良さ、ロータリーの社会貢献などをお話してロータリーへの入会を促進させるということでした。しかし、残念ながら今回はロータリアンでない方達の参加は

少なく、ほとんどがロータリアンの参加となり、本来のフォーラムの趣旨とは異なってしまいました。私達ロータリアンが再度ロー



タリーについて学ぶ機会が得られたという意味で極めて有意義であったと感じました。

特に今回パネリストとしてご発表された各グループからの若いロータリアンのお話は、ロータリーへの思いや入会してからの感想など素晴

らしいお考えを聴かせて頂き、改めて勉強させて頂きました。さらに我が国ではロータリアンの高齢化や女性会員の割合の少なさが指摘されている現状で、30～50歳の若い方や女性会員獲得の必要性など実感したフォーラムでした。

フォーラムの進行は下記の通りです。

12:30 登録 司会：岡部みゆき(会員増強副委員長)

13:00 点鐘

君が代・奉仕の理想斉唱

指揮：中里忠夫(会員増強委員)

地区役員紹介

鈴木秀憲 ガバナー 挨拶

井荻利博 会員増強委員会委員長 挨拶

13:20 ロータリーDVD上映「ようこそロータリー」

13:30 米山奨学生イーテンザ 越生 竜吉

(ミャンマー出身、城西大学大学院)

{ロータリーから得たもの}

13:45 「ロータリーの魅力、

ロータリーっていいね!」

パネルディスカッション

パネリスト

第1グループ 戸口 勝 小川

第2グループ 尾崎孝好 富士見

第3グループ 中川 潤 新所沢

第4グループ 持田理沙 本庄南

第5グループ 高橋貴子 行田 さくら

14:25 講評 ガバナー 鈴木秀憲

14:30 点鐘

相原ガバナーエレクト サンディエゴ国際協議会出席 壮行会



川越 八木 拓也

相原ガバナーエレクトが、来年1月19日から25日までアメリカ・サンディエゴで開催される国際協議会に出席されます。ガバナーとしての準備を整えるため、多くの研修会に参加し、また、同期のガバナーとなる世界中のロータリアンと、意見交換をする重要な会議です。

その旅立ちに際し、12月10日川越ロータリークラブでは、メンバー70名あまりが参加し、相原ガバナーエレクトを激励する壮行会を開

催しました。藤井会長、立原パストガバナーの励ましの挨拶の後、相原ガバナーエレクトより力強い抱負が表明され、メンバー全員の満場の拍手をもってその前途を祝しました。

相原ガバナーエレクトは、川越ロータリークラブ6人目、そして親子二代のガバナー就任となります。来期は、ガバナー輩出クラブとして、私たち川越ロータリークラブメンバー全員で相原ガバナーをサポートしていくことを誓い合い、ますますクラブの結束が強まった、素晴らしい壮行会となりました。



2019～2020年度 第4回オリエンテーション (帰国報告会)



2019年12月15日(日曜日)紫雲閣にて14時より開会、鈴木秀憲ガバナー、村田貴紀第4グループガバナー補佐をお迎えし、御挨拶を承り、又スポンサークラブの皆様ホストファミリー、派遣生のご父兄、ローテックス等多くの方の参加をいただき盛大に行われました。

第48期派遣生、工藤由寿(大妻嵐山高等学校)、川越ロータリークラブのスポンサー



の下メキシコに派遣。藤井直視(西武文理高等学校)、狭山中央ロータリークラブの下フランスに派遣。権田彩姫(大妻嵐山高等学校)、東松山ロータリークラブの下インドネシアに派遣。今田美咲(国際学院高等学校)羽生ロータリークラブの下イタリアに派遣。派遣生4

名は、おおよそ1年間、海外での留学生活を通して各国の風習、文化、仕来りを学びまた各国ロータリアンの手厚い支援と交流で一回り大きく成長してそれぞれ2019年6月～7月に戻ってまいりました。その派遣生の成長した姿と報告に出席者の皆様に大いに感動していただきました。青少年交換プログラムの大事さを一層認識いたしました。

川越 青少年奉仕委員会委員長 坂口 孝

所沢東 青少年奉仕委員会 青少年交換小委員会委員長 中島 洋志

支援していただきました、スポンサークラブの皆様、ホストファミリーを受けていただきました皆様、そして来日学生を受け入れていただきました各高等学校の皆様へ深く感謝します。

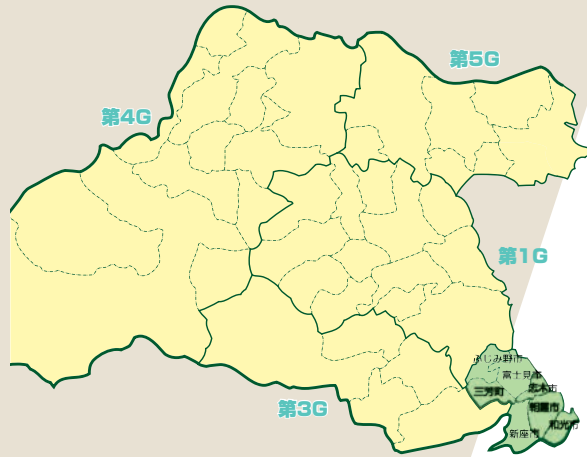
尚49期生、松葉明里(イタリア)、廣田健人(アメリカ)、市村真大(アメリカ)、森田梨加(フランス)、古川ココ(スペイン)、の5名を現在派遣中です。

地区全クラブ、全会員の皆様、引き続き青少年交換プログラムに対してのご指導、ご支援、ご協力をお願いいたします。

2570地区内グループ紹介/第2グループ

2019～2020年度RI会長マーク・ダニエル・マローニー氏の「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下2019～2020年度の第2グループガバナー補佐をさせていただきます和光RCの松川厚子でございます。第2グループは埼玉県の南に位置し東京都に近い7つのクラブでなっています。朝霞・朝霞キャロット・志木・新座・新座こぶし・富士見・和光RCと比較的少人数なクラブばかりですが、それぞれに素晴らしい会員がいて、光るものがありました。ガバナー補佐は、ガバナーが地区テーマである「未来につなぐ」と「変える(基本に返る)」を行いやすいように補佐訪問をして公式訪問の準備をさせていただきましたが、志木RCのように人数が多く委員会活動をきちんと

行い、いろいろな世代の会員がバランスよく活躍しているクラブや、朝霞キャロットRCや新座こぶしRCのように少人数でも勝瀬会長・高橋幹事・戸高会長・山田一郎幹事・小島副会長ご夫妻他のように優れた人材がいっぱいあるクラブもあり、きちっと運営していることがよくわかり、勉強になりました。また和光RCの親クラブである朝霞RCは、私の祖父富澤譲太郎が元会員だったこともあり、稲山先輩やまだクラブのチャーターメンバーもいて祖父や母の話をして下さり暖かく迎えていただきました。理事会などきちんと手順を踏んで運営なさっている印象でした。特に栗山会員には、私の父と会長をやったのが同期であったということで、とてもお世話になり研修させていただきました感謝しています。富士見RCは、坂本パストガバナーや下山元ガバナー補佐がいらしてとても安心して、補佐訪問とガバナー訪問を行いましたし、歴史ある完成されたクラブでした。



第2グループガバナー補佐
松川 厚子

和光

ここでもまたいろいろ学びました。新座RCは、森田前ガバナー補佐のホストクラブでもあり昨年度から会長・幹事会で大変お世話になっていました。

人数はあまり多くないのですが、ちゃんとしていて、書類がとともよくできていました。これは、補佐と会長・幹事そして事務局がしっかりしているからだと思いました。今年ガバナー補佐をさせていただくのに森田前ガバナー補佐の資料を参考に務めさせていただいております。和光RCは少人数のファミリークラブですが、IMIに向かってONE TEAMで協力して頂いています。補佐は、各クラブの会長と会員がベストを尽くし、可能な限りの最大限を達成できるように意欲を引き出すだ

けです。次にIMですが、8月にロータリー財団セミナーに出席した際、フランスから一時帰国中の大沢悠子さんの活動報告があり、大変感動しました。そしてすぐにIMのテーマを5大奉仕の1つである「国際奉仕について」やりたいと思いましたが、現在第2グループとしては、人数が少ないため予算的にも「国際交流」がやっとなのです。少人数クラブの国際交流・国際奉仕のあり方を皆で話し合いたいと思います。



2019年台中大屯に招かれた和光RCと台中大屯RCのメンバー

MPHF

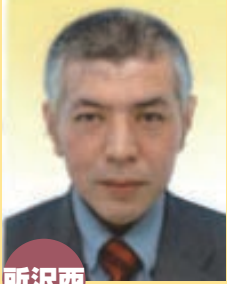
PHF

MPHF

米山 1
回目

米山 M 4
回目

米山 M 4
回目



所沢西

鈴木 伴忠



所沢西

垣良 裕子



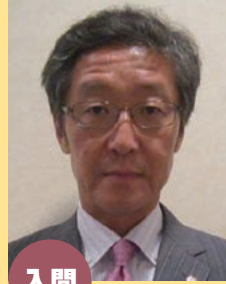
新所沢

中川 潤



入間

新井 格



入間

友野 政彦



入間

宮寺 成人

MPHF

MPHF

米山 M 3
回目

米山 M 7
回目



行田
さくら

矢澤 大和



行田
さくら

新井 啓介

表彰

PHF

ポール・ハリス・フェロー

MPHF

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

PHS

ポール・ハリス・ソサエティ

MD

メジャードナー

BF

ベネファクター

米山

米山功労者

米山 M

米山功労者マルチプル

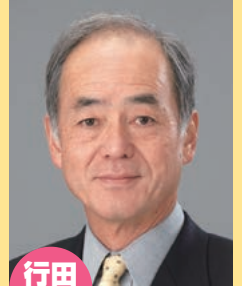
米山 MD

米山功労者メジャードナー



入間

山岸 義弘



行田
さくら

矢澤 大和

MPHF

MPHF

米山 1
回目

米山 1
回目



行田
さくら

横川 福治



行田
さくら

渡辺 昭孝



所沢

高橋 興基



所沢

細野 達男

新入 会員



寄居

氏名..... 森田 淳一

勤務先..... ジェイムズ(株)
役職..... 代表取締役
入会日..... 2019年12月4日
紹介者..... 松本 幸男



寄居

氏名..... 吉田 正博

城南観光バス(株)
代表取締役
2019年12月4日
小宮 俊光

The Rotary Foundation R I 日本事務局
財団室
NEWS
1月号

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
Vol. 237

訃報

謹んで哀悼の意を表し、心から
ご冥福をお祈り申し上げます。

齋藤 文雄様



飯能

ご逝去日
2019年12月17日
(享年 86歳)

ロータリー歴
1972年2月入会
(在籍 47年)

会員数・出席率 (2019年12月)

例 会 数	クラブ名	出席率 (%)		会員数 (人)										女性 会員		
		当 月	通 算	年 初 (7/1)	12 月 末 現 在	12 月 入 会 数		12 月 退 会 者		本 年 度 入 会 数		本 年 度 退 会 者			12 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数
						12 月 入 会 数	12 月 退 会 者	本 年 度 入 会 数	本 年 度 退 会 者	12 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数					
第1グループ (11RC)	川越	3	81.36	76.66	94	95	1	1	5	4	0	1	2	2	2	
	東松山	3	59.40	57.01	25	24	0	1	0	1	-1	-1	1	1	1	
	小川	3	71.42	80.35	9	8	0	0	0	1	0	-1	2	1	2	
	坂戸	3	80.46	78.25	31	31	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	越生毛呂	3	55.10	58.53	17	17	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	川越小江戸	3	76.19	78.36	15	15	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	川越西	3	79.90	77.42	17	17	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	鶴ヶ島	3	96.00	93.87	29	29	0	0	1	1	0	0	3	3	3	
	川越中央	4	70.71	72.80	28	28	0	1	2	2	-1	0	0	0	0	
	坂戸さつき	2	70.00	73.47	20	19	0	1	0	1	-1	-1	4	4	4	
東松山むさし	3	84.16	85.90	43	43	0	0	0	0	0	0	6	6	6		
小計	33	74.97	75.69	328	326	1	4	8	10	-3	-2	22	22	22		
第2グループ (7RC)	朝霞	3	88.00	98.00	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	志木	3	96.21	94.53	47	47	0	1	1	1	-1	0	2	2	2	
	富士見	3	73.28	80.30	45	42	0	1	0	3	-1	-3	0	0	0	
	新座	4	85.87	81.07	29	29	0	0	0	0	0	0	2	2	2	
	和光	3	72.22	76.39	6	5	0	1	0	1	-1	-1	2	2	2	
	朝霞キャロット	3	87.88	82.73	12	11	0	0	0	1	0	-1	0	0	0	
	新座こぶし	3	87.50	89.25	8	8	0	0	0	0	0	0	2	2	2	
	小計	22	84.42	86.04	175	170	0	3	1	6	-3	-5	8	8	8	
	第3グループ (11RC)	入間	3	70.00	73.48	42	40	0	1	0	2	-1	-2	2	2	2
		所沢	3	65.07	71.95	58	58	0	0	1	1	0	0	3	3	3
飯能		3	89.20	88.72	60	58	0	1	1	3	-1	-2	0	0	0	
新所沢		3	84.49	88.94	20	23	1	0	3	0	1	3	2	2	2	
日高		3	70.80	61.84	19	19	0	0	0	0	0	0	3	3	3	
所沢西		3	86.60	85.57	30	30	0	0	0	0	0	0	3	3	3	
新狭山		3	68.75	70.52	15	16	0	1	2	1	-1	1	0	0	0	
所沢東		3	86.98	87.43	44	45	0	0	2	1	0	1	2	2	2	
入間南		3	77.52	84.73	43	43	0	0	0	0	0	0	5	5	5	
所沢中央		4	88.70	89.18	24	23	0	0	0	1	0	-1	2	2	2	
狭山中央	3	74.47	83.55	30	27	0	2	0	3	-2	-3	5	5	5		
小計	34	78.42	80.54	385	382	1	5	9	12	-4	-3	22	22	22		
第4グループ (11RC)	深谷	4	73.21	67.07	57	58	0	0	1	0	0	1	11	11	11	
	本庄	4	60.70	67.79	78	78	0	1	1	1	-1	0	5	5	5	
	秩父	3	80.70	80.72	50	51	0	0	2	1	0	1	1	1	1	
	寄居	3	81.48	86.02	23	27	2	0	4	0	2	4	0	0	0	
	児玉	1	100.00	100.00	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	岡部	3	100.00	91.26	14	13	0	0	0	1	0	-1	1	1	1	
	深谷東	3	65.79	67.26	67	67	0	0	2	2	0	0	0	0	0	
	川本	3	84.00	80.17	8	7	0	1	0	1	-1	-1	0	0	0	
	皆野・長瀨	3	75.70	77.23	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本庄南	3	86.66	77.16	15	15	0	0	1	1	0	0	2	2	2	
深谷ノース	4	79.00	81.97	32	31	0	0	0	1	0	-1	1	1	1		
小計	34	80.66	79.70	358	361	2	2	11	8	0	3	21	21	21		
第5グループ (10RC)	熊谷	4	77.00	71.22	89	92	0	0	5	2	0	3	3	3	3	
	行田	3	51.60	50.10	64	63	0	1	1	2	-1	-1	5	5	5	
	羽生	4	83.86	68.35	48	48	0	0	0	0	0	0	4	4	4	
	加須	3	77.57	81.68	27	27	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	熊谷西	3	66.00	77.00	9	10	0	0	2	1	0	1	0	0	0	
	行田さくら	3	71.80	65.10	50	51	0	0	2	1	0	1	2	2	2	
	熊谷東	3	73.80	67.67	28	27	0	1	0	1	-1	-1	2	2	2	
	吹上	3	88.80	85.97	7	8	0	1	2	1	-1	1	2	2	2	
	熊谷籠原	3	83.33	79.38	28	28	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
	熊谷南	3	51.40	53.64	22	24	0	0	2	0	0	2	3	3	3	
小計	32	72.52	70.01	372	378	0	3	15	9	-3	6	22	22	22		
50RC	男性会員数		77.81	77.95	1526	1522	4	16	40	44	-12	-4				
	女性会員数				92	95	0	1	4	1	-1	3				
	合計				1618	1617	4	17	44	45	-13	-1				

スケジュール (2020年2-4月)

2月	2 (日)	公共イメージ委員会/公共イメージセミナー
	3 (月)	青少年奉仕委員会/第6回オリエンテーション 節分祭
	15 (土)	第2グループ Intercity Meeting
	21 (金)	地区チーム研修セミナー
	22 (土)	ロータリー財団委員会/第3回オリエンテーション・2770地区合同
3月	24 (月・祝)	第5グループ Intercity Meeting
	29 (土)	第4グループ Intercity Meeting
	1 (日)	ロータリー財団委員会/R財団奨学生応募受付
	8 (日)	社会奉仕委員会/第1回ブライダルパーティー R米山記念奨学委員会/奨学生・修了式・歓送会 (予定)
	14 (土)	ロータリー財団委員会/第2回R財団セミナー&補助金管理セミナー
4月	15 (日)	PETS (会長エレクト研修セミナー)
	21 (土)	研修委員会/DL修了コース 実施
	29 (土)	第1グループ Intercity Meeting
	30 (月)~4月1 (木)	青少年奉仕委員会/スプリングキャンプ
	5 (日)	R米山記念奨学委員会/新奨学生オリエンテーション・カウンセラー会議
4月	18 (土)	地区大会 (第1日目)
	19 (日)	地区大会 (第2日目)
	25 (土)	ロータリー財団委員会/第4回オリエンテーション
	26 (日)	地区研修協議会
	30 (木)	ロータリー財団委員会/「R財団奨学生」募集申請書地区締切

インターシティミーティング(IM/都市連合会)へご出席を!

2月15日(土)の第2グループを皮切りにIMが次々に開催されます。

第2グループ 2月15日(土)

担当:和光RC
大澤 衛 実行委員長
13:30 ~
於 ベルセゾン

第5グループ 2月24日(月)

担当:行田さくらRC
阿部 秀二郎 実行委員長
13:30 ~
於 ホテルガーデンパレス

第4グループ 2月29日(土)

担当:本庄南RC
長沼 章 実行委員長
13:30 ~
於 埼玉グランドホテル本庄

第1グループ 3月29日(日)

担当:生越毛呂RC
横澤 洋司 実行委員長
13:00 ~
於 ニューサンピア埼玉おごせ

IMは、グループ内のクラブが集まり、クラブ会員相互の親睦と知識を広めることにあります。出席はメイクアップになりますので、是非ご参加をお願いいたします。

地区幹事 藤倉 武

ガバナー月信 第8号 2020年2月1日発行

今月の表紙:

横山 明美:国際奉仕委員会委員、副会長(左)

熊谷 俊子:第4グループ 深谷 会長(右)

2019-2020年度ガバナー 鈴木 秀憲

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣内

TEL (0493) 21-2570 FAX (0493) 21-2571

E-mail = d-office@mail.rid2570.gr.jp

Website = https://www.rid2570.gr.jp

月信原稿送信先 = info2019@rid2570.gr.jp